

# まえはようちえんだより 第2学期を終えて

令和2年12月24日  
小田原市立前羽幼稚園  
園長 越川 知香子

楽しかった第2学期も、今日で終わりです。今年度は、様々な行事を形を変えて行いました。自分たちだけの力でやりきった“運動会”、公共交通機関を使わずに歩いて行った“坊山”、ステージと作品展をミックスして行った“生活発表会”。未曾有の事態に困惑しながらも“子どもたちの育ちを保证するために、何が大切か・・・”と日々、問答しながら、教育活動を見直し、取り組んできました。子どもたちは、新しい生活様式にも順応し、キラキラした笑顔で、様々な行事や日々の遊びを楽しんでいました。その姿を見て、子どもたちと共に過ごす喜びを感じながら第2学期を終了することができました。これも、園の教育活動にご理解をいただき、常に温かい目で見守ってくださった、保護者の方と地域の皆様のおかげです。職員一同、心より感謝いたします。

## 第2学期の思い出



### <運動会>

前羽幼稚園ならではの、“合同リズム・よさこいソーラン”は、年長児の動きに刺激を受けた年少児が、「年長さんみたいにかっこよく踊りたい!」と、憧れの思いをもって息を合わせて取り組みました。



### <秋の遠足・坊山>

片道50分かけて登りました。坊山に到着すると、2度の延期のかがあって、すばらしい好天で抜群の景色に、「こんな高いところまで、来ちゃったね!」「JRが走ってる!」「幼稚園が見えるかな?」と大喜びでした。



### <園外散歩・吾妻神社>

遠足を経験した後、「坊山より遠いところまで歩いていける?」と尋ねると、自信満々の子どもたち。道中は、秋の自然に触れながら神社まで頑張って歩きました。遊ばせてもらう前と帰りには氏神様にしっかりと挨拶をしました。



### <年長組・生活発表会>

第1学期から“お祭りごっこ”を楽しんできたほし組の子どもたち。昨年教えてもらった和太鼓の経験も生かしたステージを披露しました。他にもメロディベルや手話ソング、作品展等、子どもたちの頑張る姿に成長を感じ、心が熱くなりました。



### <年少組・生活発表会>

“すみれ組しまむらストア”に家の人を招待しました。店は大盛況!他にも、頑張って作った楽器の演奏や可愛いリズムをステージで披露しました。作品展展示室では、“自分の家”の入った地域マップや粘土の個人作品などを展示し、自慢げに家の人を案内する姿が微笑ましかったです。



### <おたのしみ会>

「ホッホッホッ〜」と元気に登場してきたサンタさん。インタビューに答えてくれたり、楽しいゲームを教えてくれました。また、一人一人プレゼントをもらい、一緒に写真撮影をしました。英語への興味関心がさらに高まりました。

## 地域の皆様に支えられて



### <坊山・オリーブ畑>

坊山にある小野澤さんの“オリーブ畑”で遊ばせてもらいました。オリーブの木を守るためのポールに鉄棒変わりにぶら下がったり、追いかけっこや伝承遊びなどを伸び伸びと楽しんだりすることができました。



### <しまむらストア>

すみれ組の子どもたちが“しまむらストアごっこ”を始めたことがきっかけとなり、実際に見学させてもらいました。副店長さんを始め、お店の方々は快く子どもたちを受け入れてくれ、優しく挨拶をしてくれたり、話しかけたりしてくれました。また、普通では入ることのできない“バックヤード”や“大型冷凍庫”などを見学させてくれ、子どもたちは目をキラキラさせて興味津々な様子でした。帰って来てからは、その実体験が遊びを充実させ、さらに“面白くしよう！”とする意欲につながっていきました。



### <サツマイモ収穫>

小野澤藤一さんと啓二さんに教えてもらい、げんき畑にサツマイモの苗を60本植えました。(時折、水やりに来ると、)「こんなに葉っぱが大きくなって!」「〇〇ちゃんの手より大きくなったね!」など生長を楽しみにしながら栽培していました。小野澤さんが、イノシシに食べられないようにお手製の柵をしてくれたおかげでたくさんのサツマイモを収穫することができました。ふとっちょイモ、なが~いイモなどいろいろな形がありました。とても嬉しそうに家に持ち帰りました。



### <タマネギ植え>

によ村さんが今年もタマネギ植えを教えてくださいました。苗や牛糞・たまごS555などの肥料について、子どもたちにわかりやすく説明をしてくれました。全部で100本(一人5~6本)植える経験をしました。土が乾いたら水やりをしようね。



### <みかん狩り>

小野澤さんのみかん畑で、みかん狩りをさせてもらいました。当日は、啓二さんと、スクールボランティアの足立さんも手伝いに来てくれました。挨拶をした後、手作りのベンチに座り、みかんばさみを使用するため、手指を動かす運動を楽しく教えてもらいました。はさみが上手に持てるようになったら、みかんを枝から切る経験を一人ずつ丁寧にさせてもらい、いよいよみかん狩りです。子どもたちは2人で1つびく(カゴ)を持ち、はさみでパチンとみかんを切ってびくの中に入れていきました。ほし組の子どもたちは、昨年の経験があることで、はさみの扱い方にもすぐに慣れ、“あっ”と言う間にびくの中にたくさんのみかんを収穫することができました。すみれ組の子どもたちも、ゆっくりではあるものの、教えてもらったように切ろうと頑張っていました。たくさん収穫できたので、袋一杯のお土産を持って帰ることができました。

## 飼育・栽培から、学んでいること



### <カブトムシの飼育・幼虫の土（腐葉土）替え>

夏休み前に、カブトムシの番をいただきました。ほし組の子どもたちは、興味津々。毎日観察をしたり、餌をあげて世話をしたりしていました。ある日、メスが死んでいるのを見つけ、子どもたちが落ち込んでいます。土の下の方に何やら白い動くものがありました。「あ！幼虫がいる！！」「どこ？どこ？」と全員の頭が飼育ケースに大集結。「あ〜ここにいる！」「ここにもいる！」と次々と幼虫を見つけました。メスは卵を産んで死んでしまったので、別れを惜しみながらお墓を作って埋めてあげることにしました。オスは逃がしてあげることに意見がまとまりました。数日後、幼虫が土の上に何匹も顔を出し始めました。子どもたちは、図鑑で調べ、“土の中の餌がなくなっている。”ということがわかったと、いただいた保護者の方に相談し、幼虫の育て方を教えてもらうことにしました。腐葉土の替え方を教えてもらうと、何と！17匹もの幼虫が土の中で育っていました。カブトムシの飼育を通して、**生き物の特徴に気付いたり、生態の不思議さなどを直接体験したりすることで、豊かな感情、好奇心、思考力、表現力の基礎が培われていきます。**ほし組さん！卒園まで責任をもって世話をしてくださいね。



### <カメの冬眠準備と引き継ぎ>

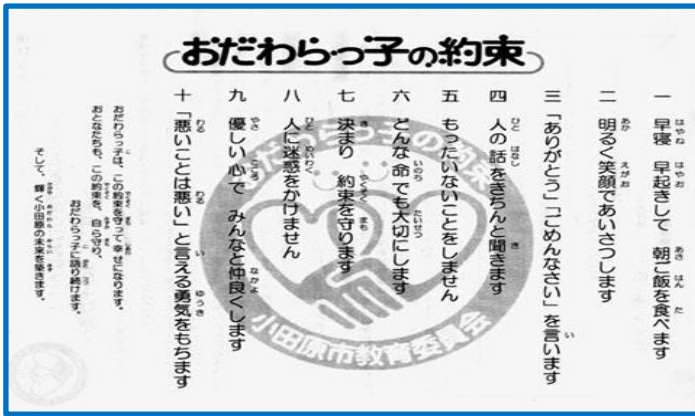
お休み調べ当番がカメの“りりいちゃん”に毎日餌をあげています。11月中旬頃から餌を食べなくなり、そのうちに石の上に乗れ、水につからなくなりました。昨年の経験から、年長児が「そろそろ冬眠の時期かもしれない！」と年少児に教えてくれました。冬眠に入る準備として、やわらかい葉っぱを探しに行こうということになり、小学校の校庭に行かせてもらいました。「冬眠のさせ方」や“冬眠から覚めた後の世話の仕方”を年少さんに教えてあげないと！」と気付いた年長児は、年少児に引き継ぎをしてくれました。**引き継ぎを通して、年少児は年長児への憧れの気持ちをもちます。また、生き物の世話を通して感動を伝え合い、共感し合うことを通して自分から関わろうとする意欲を育てます。様々な関わり方を通して親しみや畏敬の念、大切にしたい気持ち、探求心などが養われます。**すみれ組さん！りりいちゃんが目を覚ましたら、世話をお願いします♡



### <冬野菜（コマツナ・ラディッシュ・ハツカダイコン・スティックブロッコリー・キャベツ・芽キャベツ）>

年長児が、コマツナ、ラディッシュ、ハツカダイコンを、年少児がスティックブロッコリー、キャベツ、芽キャベツ、スナップエンドウを栽培しています。また、チューリップやパンジーの世話も頑張っています。**生命あるものは、大切に丁寧に世話をしないと大きく生長しないことを学んでいます。時間をかけて関わることで、愛着が湧き、慈しみの気持ちが芽生えます。また、自分たちで育てた物を食することで、食べ物の大切さや作り手の思いも感じるできるようになります。**ほし組さんが小学生、すみれ組さんが年長さんになる頃に、チューリップがきれいな花を咲かせてくれるのが待ち遠しいですね！

## みんなで守りたい『おだわらっ子の約束』について



子どもたちに身に付けてほしいことやみんなで守っていききたいルールなどを「ことば」にして、地域ぐるみで子どもの健全育成が進められるようにしたものが「おだわらっ子の約束」です。この約束は、小田原市立の幼稚園・保育園・小学校・中学校で、一貫して取り組んでいます。前羽幼稚園では、毎月、子どもたちの実態に応じて、重点的に取り組む約束を決めています。

★ご家庭でも見えるところに貼って、家族皆で意識していただけるようお願いいたします。

## 『命を守る訓練』について

幼稚園では、毎月1回の避難訓練・年間を通しての幼小中合同引き取り訓練・津波避難訓練・防犯訓練等を行い、不測の事態に備えています。また、例年ですと、防犯教室・防災教室等を通して、お子さんと保護者の方と共に、学ぶ機会も設けていますが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、合同の引き取り訓練を幼稚園だけの単独で行ったり、DVDを消防署よりお借りして、防災について学ぶ機会（園児のみ）をもったりしました。10月末に実施しました引き渡し避難訓練は、ご協力ありがとうございました。提出していただいた保護者の皆様の感想をまとめました。情報共有をさせていただき、今後の参考になればと思います。

### <引き渡し避難訓練の感想>

#### <年少組 保護者>

- ・日頃幼稚園まで歩くことがないので、よい機会になった。
- ・家からの所要時間を図る機会がなかったので、よい機会になった。
- ・子どもが緊張感をもって行動していた。頑張ってた。
- ・ブロック塀が多く、背が高く古いものが多くあった。園にいた方が安心かもしれないと感じた。
- ・冷静な判断ができるよう防災品を揃えたいと思った。
- ・大きな災害が起きた時の心づもりになった。

#### <年長組 保護者>

- ・日頃歩いていない道を通った。倒壊を避けるには遠回りの方がよいと思った。
- ・月間絵本にどこが危ないかという話があると聞いて、親子で帰ってから観た。
- ・下の子どもたちが小さいため、徒歩での避難は困難だと思った。
- ・落ち着いて行動できるようにしたいと思った。
- ・帰り道も安全を確認しながら帰った。（危険箇所を確認）
- ・いつも通っている道は危険ではないかと思った。他の道も考えておくようにしたい。



## 冬休みに向けて

本日で、第2学期が終わります。明日から冬休みに入りますが、第3学期は、進級・進学に向けて心と体の準備が大切な時期になります。今までの生活習慣を崩さないようにご配慮をお願いします。冬休みは子どもたちにとって楽しいことがたくさんあります。また、年末・年始の雰囲気などこの時期ならではの経験もたくさんできる時期です。いろいろな経験をしたり、家族の一員として力を発揮したりできるようにして、かけがえのない時間を過ごしてください。来年も、前羽幼稚園の子どもたち・保護者の皆様・職員にとって、幸多き年になりますようにお祈りしています。そして、1月8日（金）に一回り大きくなった子どもたちの元気な顔を見られることを楽しみにしています。